

「米軍基地いらない京都府民の会」ニュース VOL. 41 2014年11月26日

# 京都府として、米軍・防衛省に申し入れを!!

## 約束違反・未履行、新たに騒音も



・11月20日、京都府に再要請する「府民の会」のメンバー。



「府民の会」11月20日に京都府に再要請

11月20日、「米軍基地いらない京都府民の会」は、京都府・総務調整課長と再度の要請・協議の場をもちました。これは、去る10月17日に、Xバンドレーダーの10月搬入・11月運用開始が迫るも、緊急要請の申し入れをしましたが、京都府は、「9月議会中でもあり、十分な時間を取れない」ことから、改めて「協議の場を設定したい」として、応えたものです。冒頭、辻村・府総務調整課長より、申し入れ（10月17日）以降の事態の進展や変化など報告があり、その後やりとりを行ないました。

「府民の会」は、米軍・防衛省の約束違反や未履行、新たな騒音問題など、「12月本格稼働」は認められず、京都府として地元住民の安全・安心の確保の立場から米軍・防衛省に申し入れをすべきと迫りました。「府民の会」の質問と主なやりとりは、以下の通り。

## 「府民の会」の質問と主なやりとり

### ・「停波」のしくみは？

ドクターヘリ、救難ヘリに関わって、「要請する側から米軍へ直接連絡する」という、一定のしくみが10月にでき、11月から飛行制限区域で試行されることから、訓練もされている。

### 「停波」を要請する組織は？

#### ・「ドクターヘリ」：

京丹後市消防本部、宮津与謝消防組合、公立豊岡病院、ヒラタ学園（豊岡病院に常駐するヘリ運航会社）。

#### ・「救難ヘリ」：

京丹後市消防本部、宮津与謝消防組合。ヘリは京都市消防に搜索要請もある。海上保安庁、京都府警も地元から要請あれば飛ぶ。舞鶴消防本部も天候により飛ぶこともある。（ヘリの機数は、京都

市消防・2機、京都府警・1機、ヒラタ学園・常時1機が待機）

### 「停波」要請の手順は？

電話で要請し、「停波した」との確認の連絡がくる。緊急時なので、まず電話し、記録的にFAXする。米軍は24時間体制の対応だが、人が替わることから、形骸化しないように、11月に入って訓練をしていると聞いている。横田に連絡して「停波」するのだと思う。日本語が分かるものも配置し、コールバックする。府へは、防衛局から報告が入るが、ドクターヘリ対応の医療課が窓口になる。手続きは、米軍も了解している。

直接対象となるヘリポートは、経ヶ岬駐車場のみ。天候が悪い場合、海側からの侵入となり、自衛隊ヘリポートや伊根・蒲入漁港となる。

**12.23 米軍基地いらない京丹後集会(仮)** ★詳細は、決定次第お知らせします。  
**(火・祝)** 正午:交流イベント 午後1時30分:集会 終了後:茶会 於:丹後文化会館  
 主催:米軍基地建設を憂う宇川有志の会、米軍基地反対丹後連絡会 協賛:京都府民の会、近畿連絡会

・発行:米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称:米軍基地いらない京都府民の会)  
 連絡先:京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

# 「有事の時は?」「今、レーダーは稼働しているのか?」 府「聞いていない」「わからない」

「有事の時はどうなるか」は、そこまで聞いていない。現在、レーダーが稼働しているのかどうかはわからない、言ってくれない。

「停波」の事例の共有化は、改善の必要があれば関係機関とのテーブルをつくる。事後報告も、米軍からなされるかどうか不明で、府として、どうあるべきか考えていきたい。

## ・交通事故

いちばん懸念している。ケガ人がなかったものの、電柱を見るとかなりのスピードが出ており、安全運転について、府としても、再度、近畿中部防衛局とオルブライト司令官に要請している。事故は、(4件ではないのか?の指摘に)報道で2件と聞いている。原因は、「不注意」、「アルコールは飲んでなかった」。地元で、なぜ起こったか、住民に説明すべきと思う。

「府民の会」は、これだけ事故が短期間に発生していることから、安全の徹底、適切な事故対策の検証、住民やレンタカー業者にも注意の喚起、米軍属や家族も含む外出・飲酒禁止令、規律のシステム、教習証明書の発行などを求めました。

## ・騒音対策

住民から「耳障りな騒音で眠れない」と聞いている。近畿中部防衛局として、総合対策を試行錯誤していると聞いている。府も気にしていた問題で、近畿中部防衛局との間で「現在の騒音と同レベル程度になるよう」との約束もあり、約束を履行していないことになる。今まで通りの生活でないということで、早急に対応を求めている。防衛局も大きな課題としている。米軍も何とかしたいと思って、緊急にコンテナを積んだりしている。防音シートとか、吸音パットとか発注し、発電機にマフラーをつけるとか試行錯誤するとしている。車力は、風が強く防風林があり騒音を吸収している。民家も離れている。また、3mほどの防音壁も作られている。現地では風向きもあり、尾和、袖志の両方で問題となっていることは、米軍も認識している。早急に、騒音対策はやってもらわないと困る。防衛局を通じ要請している。米軍は、早く仲良くなりたいたいとも思っているから騒音対策をやりたいと動いている。

## ・軍属の居住地

まだ、具体的には何も連絡ない。かけらもない。

## ・4者協議

4者協議の位置づけは、意見交換・情報交換をする

もの。今後は連絡協議会でとなるだろうが、わからない。審査請求の結果は、不明だが、審査会の答申をふまえた決定がされることになる。もう少し先のことかと思う。情報公開だが、府のものは、単なる報告書で、正式の議事録ではない。

## ・連絡協議会

定期的に関われるかどうかは、未定。地元の区長さんが入ったもとの、早く開催するよう言っている。

「府民の会」は、課題がいっぱいあり、連絡協議会で問題を解決するよう求めました。

## ・工事の約束違反

日曜・夜間の工事については、特に返事はない。請負業者はしておらず、米軍がやっているとの防衛省の説明だったが、準備なのか工事なのか、地元の理解を得られないと言っている。しっかり、地元の説明をと求めたが、いまだに回答はない。

## ・JEGSの件は

回答ない。国定公園など米に伝えたと言っているが、米軍が独自に判断するもので、報道された点については回答ない。松の木が、何本切られたかは知らない。

## ・約束の未履行について

住居地、騒音は先に述べた通り、未履行だ。警察官の増員は、国で検討されていて、定数条例の改定と国の政令の変更が必要。予算は不明。都道府県の基地再編交付金は、ないだろう。

「府民の会」は、京丹後市は、交付金をもらって腰が引けている。府としての対応をすべき。未履行が依然としてある中で、本格稼働は認められないと主張。

## ・トイレ、排気ガス、照明、水質

また、「府民の会」は、現地工事でのトイレや排水は、どうなっているのか、浄化槽の許可申請もされていない。騒音に加え、排気ガス、夜間照明、水質汚染など、環境が一変していることから、改めて調査を要求。本格稼働までに地元住民の安全・安心に関わる問題について、地元説明会を京丹後市と連携して開催すべきことを要求しました。

## 米軍・防衛省に新たに要請を

「府民の会」は、府として本格稼働までに、諸問題を整理し、米軍、防衛省へ新たに要請するなど、府としてイニシアの発揮を求めました。

府は、現在、諸問題の解決へいろいろやっている時だが、できないのであれば要請は検討したい、と答えました。

●過去の「府民の会」のニュースは、下記のURLでご覧になれます。

<http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>